

芦北町立佐敷中学校 学校便り



けやき

R4. 3. 6 文責:吉本

祝・卒業！53名の春

第75回卒業証書授与式が執り行われ、五十三名の卒業生が旅立ちました。コロナ禍の中で縮小しての式となりましたが、在校生も教室からリモートでメッセージを送ってくれるなど心温まる式となりました。これまでご指導・ご支援いただいた全ての方々に深く感謝申し上げます。式辞の一部を掲載いたします。



校長式辞(前半:略)・・・皆さんが入学した日は、平成三十一年四月九日でした。そして翌月の五月一日に年号が「令和」に変わり、よりフレッシュな気持ちで学校生活をスタートし、一年時は様々な行事を経験し、充実した学校生活を送りました。しかし、翌年、新型コロナウイルス感染症の出現で状況は一変しました。三月から五月まで臨時休校となり、その後も感染対策

が強いられました。六月からの学校再開で二年生の生活に慣れてきた矢先の七月四日、豪雨が私たちを襲いました。皆さんが使用していた一階の教室を中心に、学校は壊滅状態となりました。まさしく、皆さんの三年間は、今まで誰も経験したことのないような困難の中での学校生活だったと思います。

しかし、卒業生みんなは、決して下を向かなかつた。むしろ、私たちに、元氣や勇氣を与えてくれました。

卒業生の活躍を振り返ってみたいと思います。一つ目は「故郷を大切に思う」姿です。

【学校教育目標】夢実現に向け

友情と信頼で結ばれ 粘り強く 考動できる 生徒の育成

皆さんはよく、こんなことを言ってくれました。「豪雨災害を経験し、今までの当たり前は、地域の人や多くの人のお陰があつてこそ当たり前でした。だから、今度は私たちが故郷を元気づける番です」と・・・。体育大会や文化祭などの学校行事では地域を元気づけることをテーマに掲げ様々な取組を行ってくれました。その姿を見て、涙を流される保護者や地域の方々もたくさんいらつしやいました。また、「豪雨災害を風化させず、地域の頑張りを全国に発信するために、佐敷中インスタグラムを開設し、中学生目線からの情報発信を初めました。この取組が評価され「熊本県善行表彰」を受賞しました。

二つ目は「文武両道」の頑張りです。今年度の中体連陸上大会では、三年生を中心に夏から厳しい練習を行ってきました。その成果が表れ、多くの種目で優勝、または入賞し、素晴らしい成績を収めることができました。学習面では、全国学力・学習状況調査において、県平均を大きく上回る素晴らしい結果を収めました。日頃の学習の様子を見たいということで、九月には熊本県の教育長先生が授業の視察にいらつしやいました。「積極的に学ぶ姿勢が素晴らしい。この姿を熊本県下に伝え、広げたい。」とほめてくださいました。

三つ目は「佐中プライド」の確立です。昨年六月に一つのメールが届きました。その内容は「芦北の海岸で釣りをしていると道ばたから数名の生徒が『こんにちは』と元氣よく挨拶してくれました。北海道から九州まで各地を転動してきましたが、通りすがりの中学生から、これほど立派な挨拶をもらったのは初めてでした。すがすがしい気分になり帰路につきました。きつと教員・保護者の皆様の教育が素晴らしいのだ、それを受け入れる素直な生徒さんに感心しました。」という、最高にうれしいメールでした。日頃から行っている心のこもった挨拶や主体的な活動が、人の心を動かすという「佐中プライド」を確立してくれました。

いま、三年間の様々な出来事が、脳裏を駆け巡っているのではないのでしょうか。楽しかったことはもちろん、苦しかったことや悔しかったこと、その全てが「かけがえのない宝物」です。十分に分かつていると思いますが、その陰には、家族や周囲の人々の支えがあつたということに思いをはせ、最大限の感謝をしてほしいと思います。

皆さんは、四月からそれぞれに選択した道を進んでいくことになりました。佐敷中で経験したこと、学んだことを支えにして、真価を発揮してください。そして、それぞれの夢の実現を果たしてください。皆さんの活躍を心から応援しています。

さて、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。職員一同、心からお喜び申し上げます。立派に成長されたお子様の姿に、感無量の思いであらうと存じます。日頃のご家庭でのご指導と励ましに敬意を表しますとともに、これまでの本校教育への温かいご支援とご協力に深く感謝申し上げます。

最後になりますが、芦北町の星野富美美術館に「花は種を」という作品があります。「花は種を 木は葉っぱを 弓は矢を 親は子を見知らぬ土地に旅に出す 『強くあれ、雄々しくあれ』・・・」まさしく、保護者の皆様の今のお気持ちではないでしょうか。私達も同じ心境です。

巣立ちゆく五十三名の前途を祝し、幸せな人生と、そして一層の成長を祈念し、式辞といたします。

「同窓会」入会式

3月4日に佐敷中同窓会副会長の平江大八様ご臨席のもと、同窓会入会式を行いました。昭和22年の創立以来、今回の53名を加え、卒業生は、10811名になります。(一万人を超えています)。多くの素晴らしい先輩方が社会で活躍されていますし、心強い先輩方に応援をいただいています。皆さんも伝統ある佐敷中の卒業生(同窓生)として「自信と誇り」をもって、大いに羽ばたいてほしいと思います。